

生きがい

生きがい

生きがい

生きがい

生きがい

生きがい

# シルバーさかど

令和2年2月1日発行

第100号

公益社団法人  
 坂戸市シルバー人材センター  
 〒350-0212  
 坂戸市大字石井 2 3 2 7 - 5  
 TEL (283) 5544 (代表)  
 FAX (289) 3733  
 企画・編集 広報部 会

総いのひとときを  
お手にしています



おかげさまで創刊より

# 100号

これからも親しまれる広報誌に



特集

- 100号記念によせて シルバーさかどのあゆみ .....P2~3
- 元編集者の声 シルバーさかどのあゆみ .....P4~5

- 令和元年度シルバーまつり .....P6~P7
- 講習会・研修会報告 .....P8
- 部会・委員会情報 .....P8
- 地域交流情報 .....P9
- 地域交流情報、理事会報告、会員の広場、他 .....P10
- 坂戸の昔を訪ねて、会員の広場 .....P11
- 事務局からのお知らせ、新入会員紹介、編集後記、他 ...P12



# 100号記念によせて



理事長

栗原厚夫

明けましておめでとうございませう。会員の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと心より喜び申し上げます。

ここに、会報「シルバーさかど」の記念すべき第100号を会員皆様始め、関係各位にお届けできることを大変うれしく思っております。昭和58年2月に「事業団だより」第1号を発行してから、平成令和と37年が過ぎ、その間に名称も変わりましたが、令和2年2月に「シルバーさかど」100号を発行することとなり、これまでの会報紙発行にご尽力いただいた全の方に、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、本年度の会員数及び契約金額については、非常に厳しい状況が続いているため、役職員が中

心となり、会員確保のため、地域に向いた入会説明会などを開催するとともに、企業訪問等による就業開拓を実施するほか、派遣事業や市等と連携した事業の強化に取り組んでおります。

また、現在の中期計画は今年度までであり、当センターが進むべき方向性を明確にするため、新たに第3次中期計画(令和2年度から令和6年度まで)を策定しております。

結びに、当センターでは地域社会に信頼される事業運営に努めてまいりたいと考えておりますので、会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 昭和58年2月 創刊号



「生きがい事業団だより」  
昭和56年4月に設立され、昭和58年2月に創刊号が発行されました。

顧問の宮崎市長が句を引用  
今日降りし 雪に競いて  
わがやどの 冬木の梅は  
花咲きにけり 〈家持〉

## 平成6年8月 第25号

「シルバーさかど」に名称変更  
平成6年5月25日  
坂戸市コミュニティセンターにおいて「定期総会」が開催されました。

会員の声  
仕事をされている会員皆さんの感想が載せられています。



### シルバー農園のご紹介

勝呂地区赤尾にシルバー農園が完成し、収穫された新鮮な果実・野菜は会員の皆さんに安価にて販売されます。



安全検査委員会設置される!!

品名	規格	単位	価格
赤玉トマト	JA規格	1kg	150円
ミニトマト	JA規格	1kg	180円
ピーマン	JA規格	1kg	120円
ナス	JA規格	1kg	100円
ズッキーニ	JA規格	1kg	110円
ピーマン	JA規格	1kg	120円
ナス	JA規格	1kg	100円
ズッキーニ	JA規格	1kg	110円
ピーマン	JA規格	1kg	120円
ナス	JA規格	1kg	100円
ズッキーニ	JA規格	1kg	110円

## 平成7年2月 第26号

### シルバー農園完成

勝呂地区赤尾にシルバー農園が完成し、収穫された新鮮な果実・野菜は会員の皆さんに安価にて販売されます。今ではじゃがいも掘りが恒例の行事となり、幼い園児達の楽しみとなっています。



# 令和二年年頭ご挨拶



顧問 坂戸市長

石川 清

新年明けましておめでとうござい  
ます。会員の皆様には、穏やかな新春  
をお迎えのことと、心からお慶び申  
し上げます。

当センターにおかれましては、会員  
皆様のためみないご努力によりまし  
て、輝かしい事業実績をあげており  
ますことに、心から敬意を表します。

また、本誌「シルバーさかど」も記念  
すべき100号の発行を迎えられま  
したことに、お祝いを申し上げます  
とともに、会員皆様の継続的なご尽  
力の賜物と重ねて敬意を表する次第  
であります。

さて、昨年は、令和という新たな時  
代を迎え、本市におきましても、更なる  
飛躍の年となりますよう、各種の  
事業を積極的に推進し、中でも、七十  
歳以上の高齢者と障害者の同乗介護  
者への市民バスの無料化や不妊治療  
費に対する助成など、新たな施策も  
順調に取り組んでまいりました。

そのような中、十月の台風十九号  
では、記録的な大雨により甚大な浸  
水被害が発生し、市民生活に大きな  
影響を及ぼす事態となりました。会  
員の皆様方におかれましても、被害  
に遭われた方がおられることと思  
います。大変なご労苦に対し、心よりお  
見舞いを申し上げますとともに、一  
日も早い復興・復旧に向け、最大限取  
り組んでまいる所存であります。

本年も、市民の皆様が安心していき  
いきと暮らせるよう、防災力の向上  
をはじめ、市民目線でやさしいまち  
づくりを推進してまいりますので、会  
員皆様の変わらざるご支援ご協力を  
お願い申し上げます。

結びに、日頃からの市政へのご協力  
に感謝を申し上げますとともに、坂  
戸市シルバー人材センターの益々のご  
発展と会員皆様のご健勝ご多幸を祈  
念し、年頭のあいさつといたします。

## 平成10年2月 第32号

### 労働大臣から感謝状

平成9年10月30日坂戸市シ  
ルバー人材センターが優良  
団体として、感謝状が授与さ  
れました。

### 会員の声

親睦旅行の感想が5頁にわた  
り掲載されています。

## 平成9年2月 第30号

### 【会員親睦研修旅行】



この頃より多岐なご支援を賜る皆様のおかげで、業務も円滑に進んでまいりました。また、平成9年10月30日、労働大臣から感謝状が授与されました。本誌100号の発行を迎えられ、心から敬意を表します。

## 平成9年2月 第30号

### 第一回親睦旅行

11月13日に初めての親睦旅  
行が行われ、バス3台で会員  
123名と大勢の参加がありま  
した。

事務局員の声として職員の  
苦労話や会員への要望など  
の記事がありました。

## 平成7年8月 第27号

### ワークプラザ落成

平成7年4月20日に落成式が  
行われました。

安全就業委員会・専門部会  
(総務・業務・広報)が設置さ  
れました。



## 平成10年8月 第33号

### B5判からA4判に

第33号より「シルバーさかど」がA4判に、大きくなりました。

平成10年度の定期総会が  
400名もの人の出席。

わが故郷じまんとして勝呂地  
区の方が「坂戸市」を詳しく  
紹介されています。





# 者の声

広報部会OBとして、原稿依頼が来たのを機会に、古い号を見返していたら平成18年の50号がセンター設立25周年記念号としてありました。当時小生入部3年目の広報部会員、素晴らしい仲間にも巡り合う中、早速素案作りに取り掛かったのを思い出しました。素案は比較的早く出来たのですが、それからがさあ〜大変！ 現存する写真を検索しやすい様に項目別に分類しパソコンに収録する人、特集頁だけ取り外しても一つの冊子になる様、見開きの在籍会員数地区割マップ、事業実績



の推移の棒グラフを円柱状にとの要望に腐心する人、設立経緯及び沿革を後から前の頁に見ていくような上の頁番号と別にも番号を付ける工夫等一同大忙し、それでもこのような作業に立ち会える喜びを感じている顔が目に浮かびます。その他平成20年の互助親睦会（仮称）設立準備委員会の為の臨時増刊特集号や、23年の30周年記念号の編集を引退の花道にできた事等懐しく思い出しながら100号の発行を心待ちにしています。

犬山 朗記



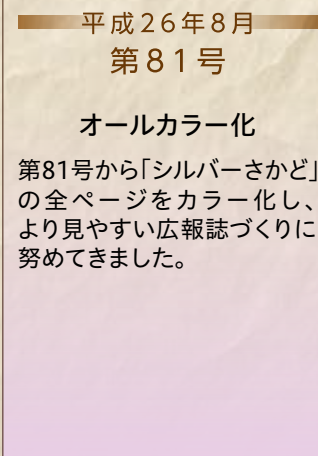
平成26年5月  
第80号

**編集作業の内製化始まる**  
第80号から編集作業を全て広報部内で行い、印刷と製本作業のみ外注にお願いする第一歩となりました。



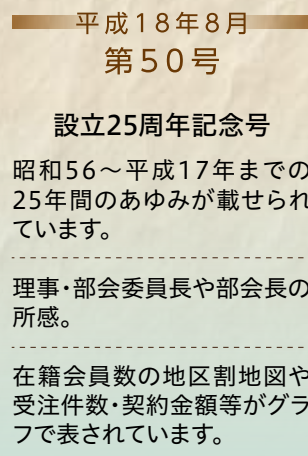
平成15年2月  
第40号

**ドイツの新聞に掲載**  
生きいきとした日本人高齢者の姿として当センターが紹介されています。驚きですね！



平成26年8月  
第81号

**オールカラー化**  
第81号から「シルバーさかど」の全ページをカラー化し、より見やすい広報誌づくりに努めてきました。



平成18年8月  
第50号

**設立25周年記念号**  
昭和56～平成17年までの25年間のあゆみが載せられています。

理事・部会委員長や部会長の所感。

在籍会員数の地区割地図や受注件数・契約金額等がグラフで表されています。

**会員の声**  
会員の声がかルト風にとまとめられて掲載されています。





# 元編集

広報誌を初めて手にしたのは、シルバーに入会手続きした日に臨時増刊特集号を頂いた時です。ボランティア活動などの社会参加や同好会、親睦会、趣味の紹介があり仕事だけでなく活動内容に他市から転入してきた私は、シルバー人材センターが新鮮に思えました。それから2年後、広報委員として、設立30年記念誌発行、広報誌70号から84号まで4年間携わらせて頂きました。



会員の皆様に見やすく読んで頂ける紙面にと文字を大きくし写真を多く入れ、広報編集を部内で行い、印刷製本のみ外注に出すことも実現出来ました。

取材をさせていただいた皆様、多くの方の支えで、紙面づくりの楽しさを知ることができました。シルバーさかどが益々充実し発展していく事を祈念しております。

小林 幸子 記



平成28年7月  
定時総会特集号

平成28年6月  
勝呂公民館で開催の定時総会特集号を発刊。

平成28年2月  
第87号

第1回シルバーまつり

11月21、22日の2日間第1回シルバーまつりを開催。大抽選会、模擬店、ヨーヨー釣り等々、大勢の皆さんに楽しんでいただきました。



女性の会発足

平成28年1月、女性の会が発足しました。勉強会・講習会等、活発に活動しています。



女性の会メンバー

**★女性の会が発足しました**  
平成26年度の総務部会で女性の会について提起があり、その入り口として昨年12月に認知症サポーター養成講座を実施しました。シルバー事業の活性化を図るためには女性の活躍が重要であることから、女性会員相互の交流を図り女性の立場から事業・課題の協議の機会を設け、女性会員の拡大と親睦を旨とする目的をもちました。当会は石坂理事と数名の女性会員が中心で皆さんの協力を願っています。

**◆勉強会のお知らせ**  
テーマ 家庭でできる薬介助  
日 講師 保健師 江川 真由美 氏  
時間 平成28年3月24日(木) 午後2時～4時  
場所 ワークラウン3階 会議室  
講師会費 カード  
申し込みは、センター事務局へ  
電話 28095544  
会費外のお友達も誘って積極的に参加下さい。



平成27年5月  
第84号

投稿作品・投稿写真の多用

第84号より、会員から応募の投稿作品(文芸欄)や投稿写真など多用し、親しみのある広報誌となりました。



# 令和元年度 シルバーまつり

11月9日(土)開催



大抽選会コーナー



「さかろん」と撮影!



パソコン教室コーナー



健康相談コーナー



産物販売コーナー





模擬店コーナー



チャリティーバザー



飲食コーナー



輪投げ



災害義援金受付



ヨーヨー釣り

## シルバーまつりを終えて

今年のシルバーまつりは好天に恵まれ、前年度を上回る来場者で大変な賑わいになりました。子供たちがゲームを楽しみ中、さかろんの着ぐるみが会場を練り歩き大いに盛り上がったほか、新たな試みとしてパソコン教室、健康相談コーナーを設けるなど一段と内容の濃いまつりとなりました。

台風19号の影響で、坂戸市でも400軒以上の方が不便な生活を余儀なくされたと聞いております。心よりお見舞い申し上げます。そのため、今回のまつりでは、産物販売・模擬店の売り上げの一部と、場内に義援金箱を設置し、ご来場の方々からご協力いただいた義援金を坂戸市役所に寄付いたしました。

また、チャリティーバザーでは会員皆さまから多数の提供品をいただき、その売上金の一部を坂戸市社会福祉協議会へ寄付いたしました。

実行委員会のもと、役員・会員・事務局のご協力とご尽力をいただき、大盛況のうちに終了できたことを心より厚くお礼申し上げます。

シルバーまつり実行委員会



## 講習会・研修会報告

〔総務部会〕

### ☆教養講座を開催

令和元年度教養講座「地域と創る健康社会へのご提案」が講師にウエルシアホールディングス株式会社・会長付地域連携推進担当部長・小原道子様をお招きし、11月28日（木）

ワークプラザにて開催されました。医療、薬にまつわる話題を60名の参加者は熱心に聴講していました。ウエルシアは坂戸から展開した全国チェーンの薬局です。薬の販売、相談、医師の指示による訪問薬局の他、店舗内にウエルカフェを併設し地域にも開放しています。ウエルシアを健康情報の発信源として活用されてはいかがでしょうか。



総務部会 記

〔女性の会〕

### ☆ボイストレーニング開催

第2回勉強会「ボイストレーニング」を12月3日（火）ワークプラザにて見山先生をお

迎え開催しました。参加者45名。「人生百年時代」といわれ、健康寿命（介護などの人の助けを必要としないで暮らせる）を長く、できるだけ外に出る機会をつくり心身の健康維持に努めたものです。

皆さん大きな声、笑顔で先生のご指導の元、「唄って、笑って、喉も心もフレッシュに」をテーマに、先生の美しい歌声に聞き入り、昔懐かしい曲などを唄い楽しいひと時を過ごしました。今後、勉強会が女性会員増を目指す活動の場であつたらうれしく思います。



女性の会 記



〔安全就業委員会〕

### ☆交通安全講習会開催

12月6日（金）西入間警察署から2名をお迎えし、ワークプラザにて95名の参加を頂き開催しました。

初めにビデオを鑑賞のあと、車と歩行者の事例を取り上げ、特に高齢者の事故が相変わ

らず多発している現状を知ることが出来ました。

「車」は早めのライトの点灯、「歩行者」は特に夜暗くなつてから車から確認しやすい服装を心がけることが大事とのお話があり、その実態を知ることができたと思います。

また、今も相変わらず多発している振り込め詐欺について事例を数多くわかりやすく話しをいただき、大変参考になる講習会となりました。

安全就業委員会 記



## 部会・委員会情報

〔事業部会〕

### ☆就業開拓のポスティング実施

10月23日、就業開拓の一環として、石井、柳町地区にシルバーまつり及びセン





ター事業PRのチラシを約850戸ポストイング実施しました。ただ、ポストに投函ではなく一声かけ「是非何わせて貰います」と気持ちよく受け取って頂きました。

事業部会 記

〔事務局〕

☆調布市シルバー人材センター  
役員が来訪

去る11月28日、調布市SCから永石副会長を含む役員12名の来訪があり、高岸副理事長、池田専務理事と事務局で対応いたしました。冒頭のあいさつで、坂戸市、調布市ともに台風19号の影響により、大きな被害があったと述べました。



研修内容では、  
1. 空家対策事業について  
2. 女性の会の活動について  
3. 安全対策の取り組みについて  
説明し、その後活発な意見交換があり、お互いに有意義な研修会となりました。

☆鶴ヶ島市シルバー人材センター  
役員が来訪

去る12月12日、鶴ヶ島市SCから中田理事長を含む役員6名の来訪があり、池田専務理事と事務局で対応いたしました。

研修内容は、

- ① 入会説明会から申し込みまでの流れについて
- ② 入会者に対する研修について
- ③ 会員全般に対する研修について
- ④ 女性会員に対する対応について

の4項目を説明し、その後は隣のセンターということもあり、より活発な意見交換が出来てお互いに有意義な研修会になったと思います。



☆役員による就業開拓実施

去る12月2、3、5日の3日間、会員理事

10名と事務局で、主に継続的に仕事をいただいている事業所等を延べ62ヶ所訪問いたしました。内容は、年末のご挨拶として、カレンダー等を持参し、日頃のお礼と最低賃金の改定



（令和元年10月1日改定）に伴う請負金額変更の説明をすとも、当センターのパンフレットをもとにセンター事業をPRし、就業機会の確保・拡大（派遣事業を含む）を図りました。

地域交流情報

☆富士見工業団地工業会との  
意見交換会開催

10月16日（木）、毎年行われてきた意見交換会は、富士見工業会の会長が交代され、新役員の元での情報交換の場となりました。

今年度は14社18名の参加を頂きました。当センターの役割や現状を事務局からつぶさに説明があったことにより、今回初めて参加された企業もセンター役員との意見交換も弾み、また継続就業をいただいている企業ともども活発な、清新な雰囲気の中でセンター事業について大いに関心を持っていただき、和やかに終始した交換会となりました。



池田専務理事 記



### 理事会報告(10月~1月)

【第8回理事会】令和元年10月30日

①新規登録正会員の承認  
(男性2名女性5名合計7名)

②報告事項4件

【第9回理事会】令和元年11月27日

①新規登録正会員の承認  
(男性4名女性6名合計10名)

②報告事項4件

【第10回理事会】令和元年12月19日

①新規登録正会員の承認  
(男性6名女性5名合計11名)

②報告事項3件

【第11回理事会】令和2年1月29日

①新規登録正会員の承認  
(男性8名女性7名合計15名)

②補正予算(第1号)の承認

③報告事項5件

広報部会  
記

12月19日、年末恒例の防犯パトロールが実施されました。総参加数120名、センターからボランティア活動の一環として、各委員会、部会、事務局の15名が参加しました。工業会事務所前を午後5時に出発、工業団地内道路を進み若葉台通りに出て約4キロ巡回し、集合場所のワカバウオークに到着後、西入間警察署員の防犯・交通事故等の講話後、集合写真を撮り、解散となりました。



提供:埼玉新聞社

### ☆富士見工業団地工業会主催の 防犯安全パトロールに参加

### 第2回 ことぶき荘まつり

ステージでの演技を鑑賞していただくとともに、周辺の桜を楽しんでいただき、ことぶき荘の利用促進を図ることを目的に、左記のように開催します。

【会場】 老人福祉センターことぶき荘  
【日時】 令和2年3月28日(土)  
午前9時30分〜午後3時

#### 【プログラム概要】

第1部芸能発表(午前10時〜12時30分)  
第2部カラオケ(午後1時〜2時30分)

※施設入館料がかかります。昼食は各自でご用意ください。売店はありません。ことぶき荘まつり実行委員会



#### 【白馬につづけ】

いづも いわい  
(毛呂山町出雲伊波比神社のやぶさめ)

撮影:菅野巨光



#### 【新年の幕開け】

(坂戸市西坂戸にて)

撮影:末次正治



### 投稿作品



## 《坂戸の昔》を訪ねて

シルバーさかど第43号から30回にわたって掲載されました。資料集めなどのご苦労があったことと思われれます。その中から一つをご紹介します。

**《坂戸の昔》を語って**

**「言葉の語源」**

「言葉の語源」の由来  
鎌倉古語が通る片柳の地（現在の飯盛神社の近く）は中世には「片柳」と呼ばれ、関口氏や杉本氏などの上杉家臣が掃蕩しており、とても水揚げが良く、江戸時代からもち米の産地として有名な地でありました。

むかし江戸城のお殿様から家臣に「餅」がおいしいとの申しつけがあり、おいしい「餅米」を求めて全国を探して歩いたという事です。

家来はあちこち探したあげく、片柳のお米がおいしい事を知り、たまたま「お餅」にして食べたところ大変気に入って、献上する事になりました。そのもち米は毎年「餅」につめられ、馬の背につけられ「餅用」の札を立て川越の新河岸まで運ばれました。

新河岸からは船で江戸まで運ばれ、鎌倉の十八番の蔵に納められました。この蔵からお城までは黒塗りの箱に詰められ、大切に運ばれたという事です。

このような事から、箱の中に入っているのがもち米なので「もちまい」、十八番の蔵に納めたので「十八番」、もち米を入れた箱のことを「おはこ」と言うことので、

「あなたの、もちまい、十八番おはこ」と言う言葉が出来た、と言い伝えられております。  
(広報部会 正木記)



「十八番」おはこについては諸説あります

## 会員の広場『今昔』

第2号からたくさんさんの投稿が寄せられています。文芸今昔をお楽しみください。

### 俳句

野仏は寛政生まれ野紺菊

鈴木章平

西瓜食うしやりしやり感が冷を呼ぶ

暇人

イケメンの案山子といわれ写メされて

すずめ

神主にペコペコペコと七五三

坂口和子

訪う人も稀なる里や柚子熟れる

綿貫和夫

### 短歌

人の名が瞬時に出ないもどかしさ

守田昌弘

脳細胞に赤信号

上村靖夫

地区懇に集いし面は晴れ晴れと  
童顔見せる早春の朝

上村靖夫

切れ間なく蛇口を出る水のごと  
妻の聞きくる泊りの事情

岳風

うぐいすの庭木に稀に來て鳴けば  
本読む茶の間に暫し声聞く

綿貫和夫

### 川柳

草むしり腰がしびれて年を知り

読人不知

盃に笑いこぼれるいぶし銀

青木董

母の言った今に判るが判る今

伊東雪江

飲むほどに妻が美人に見えてくる

鉄ちゃん

百号にそんなに生きた？と勘違い

哲人

### 新春問答から

問 シルバー人材センターとかけて

答 恵比須様と解く…その心は…

・女房の口害を防いでくれる

・女房に亭主不在の安息日を与えてくれる

くれる



## 事務局からのお知らせ

### 配分金収入等に対する所得税の取り扱いについて

シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取扱いは、以下のとおりです。

1) 配分金収入は、所得税法上『雑所得』に区分されます。**雑所得の金額は原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した額です。**したがって、配分金収入に係る必要経費の額は、65万円以上ある場合、配分金収入から必要経費の全額を控除とします。

しかし、**必要経費の額が65万円未満の場合は**、『租税特別措置法』第27条の適用により、65万円を上限として控除します。(ただし、収入金額を限度とします。)

2) 公的年金を受給している会員は、配分金収入とは別に公的年金等控除の申請ができます。

3) 給与収入のある会員は、最低65万円(ただし収入金額を限度とします)の給与所得控除ができますが、その場合、配分金収入に係る控除額は**65万円から給与所得を控除した残額が限度です。**

※上記以外の収入がある場合の所得控除等については、川越税務署(Tel.235-9411)にお尋ね下さい。

### 新入会員の紹介

【10月入会者】(7名)

(三芳野地区) 砂子田チヨ・仲田光男

(大家地区) 長谷川林子

(北坂戸地区) 塩澤登志子

(坂戸東地区) 岩城雪江

(坂戸西地区) 山崎清・田中照美

【11月入会者】(10名)

(三芳野地区) 佐伯功・石塚典子

(北坂戸地区) 藤田照子

(坂戸中央地区) 紫藤與志子・菅谷昇

(坂戸東地区) 小林雅美・石田智子

(坂戸西地区) 堀口敏子・林芳枝

(坂戸西地区) 小和瀬正章

【12月入会者】(11名)

(三芳野地区) 樋渡光子

(大家地区) 中島澄子・加藤みよ子

(北坂戸地区) 後藤貞克

(坂戸中央地区) 堤哲造

(坂戸中央地区) 朽木好則・佐宗和雄

(坂戸西地区) 鈴木啓夫・海野和美

(坂戸西地区) 松本邦彦

(坂戸西地区) 鹿山敏子

【1月入会者】(15名)

(三芳野地区) 井上悦子

(勝呂地区) 中村ミネ子・中村一夫

(大家地区) 一戸早苗・一戸寿

(北坂戸地区) 宮川良雄

(坂戸中央地区) 小澤茂子・山中勲

(坂戸中央地区) 三戸部義信・鈴木康司

(坂戸東地区) 紺野弘子・片岡紘房

(坂戸東地区) 片岡愛子・佐藤美幸

(坂戸東地区) 北吉恵

### 計報

白根 章雄 様	坂戸中央5班	享年65歳
日下 栄治 様	北坂戸7班	享年90歳
近藤 秀只 様	坂戸東6班	享年82歳
浅野 勇一 様	北坂戸3班	享年72歳
寺沢 定雄 様	勝呂8班	享年88歳
重松 博 様	北坂戸5班	享年82歳

謹んでご冥福をお祈りいたします

### 会員状況

令和2年1月31日現在

男709人(28人減) 女473人(6人減)

合計1,182人(34人減)

( )内 平成31年4月1日より増減

シルバーさかど100号をお届けします。昭和56年シルバー人材センターの前身である「生きがい事業団」が設立され、2年後に「生きがい事業団だより」が創刊発行されました。平成6年発行の25号より「シルバーさかど」に名称変更。今号では「シルバーさかどのあゆみ」を掲載しております。創刊号から一頁一頁、目を通し先輩方のご苦労に思いを馳せながら、いかに皆様に広報誌の歴史をお伝えし、これからも親しんでいただける誌面づくりができるか苦慮いたしました。シルバーの事業発展を祈ると共に、「シルバーさかど」の成り立ちから100号発行までに、乗り越え切り開いてこられた先輩編集者の原点精神をご理解していただければ幸いです。多くの皆様方の感想をお待ちしております。

高岸 明 記

編集後記